

# 民報あばしり

NO.1079

2016.7.31

発行所

日本共産党  
網走市委員会  
網走市北八西三  
番地四三、四四五八  
F 四三、四四五七

## ごみ料金 考え直して!

### 「ゴミ問題で」 宅配トーク開催!

新日本婦人の会網走支部は、7月25日に市民部生活環境課の担当者に来てもらい「ごみの減量とリサイクル」という内容で、ごみ問題の全体について説明を受けました。



熱心に質疑する会員の皆さん（新婦人事務所にて）

説明の中で「ごみ排出量の推移は、排出量が減少しているように見えるが、人口が減少しているのので一概にいえない

い」等の説明を受け質疑応答に入りました。

「資源物はこれまでと違いますか?」「容器包装プラスチックと分別収集の対象とならないプラスチック類の違いが分からないんですけど」などまた、新たな分別回収によるごみの料金についても疑問の意見が相次ぎました。

「これまで無料だった廃プラが有料化になるのはなぜですか?」「持ち込みごみの処理手数料が100キロまで800円とし、100キロを超え場合は10キロにつき80円はどういうこと?持ち込むなどということなの?」「ほとんどの市民はせいぜい1回に30、40キロ程度なのになぜ1回につき100キロなの?」などの意見が出されました。

最後に新日本婦人の会網走支部の事務局長から「料金については持ち帰って再考してほしい」との強い要望が出され、予定時間を超える熱心な意見が出されました。



## 松浦奮戦メモ

先週は、あばしりオホーツク夏まつりが21日、23日まで行われました。初日の21日は「納涼ビールまつり」、天気は良かったのですが風が冷たくて体が冷えました。22日は「流水おどり」、市民など1200人を超える参加で、天気にも恵まれ市議会の一員として踊りました。

23日は「夕市まつりと花火大会」、この日も天気が良く「道の駅」の駐車場は市民をはじめ近隣の市町、そして本州のナンバーを付けたキャンピングカーもたくさん来ていて満

杯に近い状況でした。

美味しい食べものを求めて長蛇の列になる売り場もでるなど、大変な混雑でした。

今年も、昼花火もあるというところで楽しみにしていました。素晴らしい彩で綺麗でした。夜の花火は4000発も上がり、今年もすばらしい花火を見せたいいただき、関係者の皆さんにお礼を申し上げます。

## 街・スポットライト

### 夏を楽しむ



足元に注意して、花火を楽しむ市民

真夏にふさわしい花火大会が23日(土)夜7時45分から始まりました。観覧会場だけでなく、市内のあちこちで花火を楽しむ市民の姿がありました。

ビールにバーベキューを楽しみながら、帰省した子供たちと「花火」を見る家族。向陽ヶ丘や台町、企業が解放したビルの屋上など思い思いの場所で花火を楽しんでいました。

中でも台町2丁目の「しおさい公園」付近はなかなかのスポットではないでしょうか。

「シュー・シュルル」親も子供も「きたきたきた、おお!」と大きな「ドーン」の音に歓声をあげ4000発の花火を楽しんだ一夜となりました。但しすぐ前は急な崖、くれぐれも足元には要注意が必要なスポットでした。

## 流水

森つねと「かけある記」

思いを受け止め前へ

参院選から半月以上経ちましたが、余韻が冷めません。投票日翌日から各地の報告会などに足を運び、支持者のみなさんの思いに触れてきました。

「申し訳ない」と目に涙をためながら手を握られた女性も。隣にいた女性が「この人はね、本当に一生懸命に電話で支持を広げたのよ」と話してくれました。この悔しさを忘れることはありません。

2012年の総選挙以来、4度目の立候補でしたが、今回ほど支援の輪が広がった選挙はありませんでした。

道東では無所属市議が候補カーの上に乗って「憲法9条を守る日本共産党の森つねとさんに清き一票を」。父親は元自民党市議の重鎮で、自身も保守の方です。

札幌では衆院道5区補選をたたかいた「市民の風」の共同代表の方が応援演説。

感動しながら別の演説場所に行くと、同じく「市民の風」ののぼり旗をもった方が追っかけて演説を聞きに来てくれました。私が通い続ける道庁前反原発抗議行動の参加者でした。

複雑な情勢のもとたたかわれた北海道選挙区は議席に届きませんでした。「憲法を守りたい」「安心して暮らしたい」「政治を変えたい」と寄せられた1票1票に思いを馳せ、みなさんとともに力強く歩みを進める決意です。

18日間の選挙戦を終え家に帰ると、息子はすっかり寝返りが上手になっっていました。子どもたちの笑顔を守るたたかいはこれからです。

日本共産党道国政相談室長  
森つねと